

RT58i とのコマンド差分表

NVR500



コマンド差分

以下の表は NVR500(Rev.11.00.01)と RT58i(Rev.9.01.49)とのコマンドの差分です。パラメータなどの詳細な情報については、コマンドリファレンスにてご確認ください。

これらのコマンドの仕様は予告なく変更されることがあります。

追加されたコマンド	
ファイル共有/同期	
onfs bind	ONFS で使用する外部ストレージの接続先ポートを設定します。
onfs mirroring contact node	ONFS ミラーリングのコンタクトノードを設定します。
onfs mirroring go	ONFS ミラーリングのファイル同期を実行します。
onfs mirroring id	ONFS ミラーリング機能の自拠点を設定します。
onfs mirroring pre-shared-key	ONFS ミラーリンググループの事前共有鍵を設定します。
onfs mirroring use	ONFS ミラーリング機能を使用するか否かを設定します。
onfs reset	ONFS で使用するストレージを初期化、または、ONFS の再起動を行います。
onfs sharing host	ファイル共有機能を使用できるホストを設定します。
onfs sharing service	ファイル共有機能の設定をします。
ssl public key generate	SSL サーバーの公開鍵を生成します。
show status onfs	ONFS の情報を表示します。
ひかり電話	
ngn type LAN-INTERFACE	NGNを使用するLAN インターフェースの種類を指定します。
show status ngn	NGN インターフェースの情報を表示します。
モバイルインターネット	
mobile access limit connection length	選択されている相手に対して、送受信データ長の上限値を設定します。
mobile access limit connection time	選択されている相手に対して、接続時間の上限値を設定します。
mobile access limit duration	選択されている相手に対して、累積管理する期間を設定します。
mobile access limit length	選択されている相手に対して、累積送受信データ長の上限値を設定します。
mobile access limit time	選択されている相手に対して、累積通信時間の上限値を設定します。

mobile access-point name	アクセスポイント名と CID(Context Identifier)番号を設定します。
mobile auto connect	選択されている相手に対して、モバイルインターネット接続を自動で接続するか否かを選択します。
mobile call prohibit auth-error count	選択されている相手に対し、認証が失敗できる最大回数を設定します。
mobile dial number	選択されている相手について、モバイル端末に ATD に続いて発行する発信先を設定します。
mobile disconnect input time	選択されている相手に対して、パケット無入力時に回線を切断する時間を設定します。
mobile disconnect output time	選択されている相手に対して、パケット無送出時に回線を切断する時間を設定します。
mobile disconnect time	選択されている相手に対して、タイムアウトにより自動切断する時間を設定します。
mobile display caller id	選択されている相手に対して、発信時に発信者番号を通知するか否かを設定します。
mobile signal-strength	電波の受信レベル取得機能の設定を行います。
mobile signal-strength go	携帯電話端末などの電波の受信レベルを取得します。
mobile syslog	モバイルインターネット接続の詳細な syslog を出力するか否かを設定します。
mobile use	モバイルインターネット接続機能を使用するか否かを設定します。
clear mobile access limitation	指定したモバイルインタフェースの発信制限を解除します。
clear mobile access limitation pp	指定した PP の発信制限を解除します。
execute at-command	指定したモバイルインタフェースに対して AT コマンドを実行します。
show status mobile signal-strength	定期実行で取得した電波の受信レベルを表示します。
show status usbhost modem	USB 接続されたモデムの通信状態を表示します。
usbhost modem flow control	モデムのフロー制御を行うかどうかを設定します。
usbhost modem initialize	モデムの初期設定時に設定する AT コマンドを設定します。
SNMP	
snmp community read-only	SNMPv1 によるアクセスモードが読み出し専用であるコミュニティの名称を設定します。

snmp community read-write	SNMPv1 によるアクセスモードが読み書き可能なコミュニティの名称を設定します。
snmp display ipcp force	IPCP で得られた IP アドレスを SNMP のインタフェースアドレスとして表示することを強制します。
snmp host	SNMPv1 によるアクセスを許可するホストを設定します。
snmp local address	SNMP パケットの始点アドレスを設定します。
snmp syscontact	MIB 変数 sysContact を設定します。
snmp syslocation	MIB 変数 sysLocation を設定します。
snmp sysname	MIB 変数 sysName を設定します。
snmp trap community	SNMPv1 トラップのコミュニティ名称を設定します。
snmp trap enable snmp	送信する SNMP トラップを設定します。
snmp trap host	SNMPv1 トラップの受信ホストを設定します。
snmp trap link-updown separate-l2switch-port lan1	各ポートの Link Up/Down 毎に Trap を送信するか設定します。
snmp trap send linkdown bri1	LinkDown トラップを送信するかを設定します。
snmp trap send linkdown pp	LinkDown トラップを送信するかを設定します。
snmp trap send linkdown tunnel	LinkDown トラップを送信するかを設定します。
snmp trap send linkdown LAN-INTERFACE	LinkDown トラップを送信するかを設定します。
snmp yrifppdisplayatmib2	MIB 変数 yrIfPpDisplayAtMib2 を設定します。
snmp yriftunneldisplayatmib2	MIB 変数 yrIfTunnelDisplayAtMib2 を設定します。
snmpv2c community read-only	SNMPv2c によるアクセスモードが読み出し専用であるコミュニティの名称を設定します。
snmpv2c community read-write	SNMPv2c によるアクセスモードが読み書き可能なコミュニティの名称を設定します。
snmpv2c host	SNMPv2c によるアクセスを許可するホストを設定します。
snmpv2c trap community	SNMPv2c トラップのコミュニティ名称を設定します。
snmpv2c trap host	SNMPv2c トラップの受信ホストを設定します。
snmpv3 context name	SNMPv3 で使用する SNMP コンテキスト名を設定します。
snmpv3 engine id	SNMPv3 で使用する SNMP エンジン ID を設定します。
snmpv3 host	SNMPv3 によるアクセスを許可するホストを設定します。
snmpv3 trap host	SNMPv3 トラップの受信ホストを設定します。
snmpv3 usm user	SNMPv3 で使用する USM ユーザ情報を定義します。
カスタム GUI	

httpd custom-gui api password	カスタム GUI の API にアクセスするためのパスワードを設定します。
httpd custom-gui api use	カスタム GUI の API を使用するか否かを設定します。
httpd custom-gui use	カスタム GUI を使用するか否かを設定します。
httpd custom-gui user	カスタム GUI を使用するユーザーを設定します。
Lua	
alarm lua	Lua スクリプト機能に関連するアラームを鳴らすかどうかを設定します。
lua	Lua スクリプトを実行します。
lua use	Lua スクリプト機能を使用するか否かを設定します。
luac	Lua スクリプトをコンパイルします。
terminate lua	タスク ID 指定により、Lua スクリプトを強制終了します。
terminate lua file	ファイル名指定により、Lua スクリプトを強制終了します。
show status lua	Lua スクリプト機能の情報を表示します。
set	環境変数を設定します。
alarm batch	バッチファイル実行機能に関連するアラームを鳴らすかどうかを設定します。
execute batch	バッチファイルを実行します。
RTFS	
rtfs format	フラッシュ ROM の RTFS 領域をフォーマットします。
rtfs garbage-collect	フラッシュ ROM の RTFS 領域をガベージコレクトします。
show status rtfs	RTFS の情報を表示します。
ファイル操作	
make directory	ディレクトリを作成します。
copy	ファイルまたはディレクトリをコピーします。
delete	ファイルまたはディレクトリを削除します。
rename	ファイル名/ディレクトリ名またはパスを変更します。
外部メモリ	
alarm sd	microSD 機能に関連するアラームを鳴らすかどうかを設定します。
sd use	microSD カードを使用するか否かを設定します。
show status sd	SD メモリの動作状態を表示します。
external-memory config filename	外部メモリボタンと DOWNLOAD ボタンの同時押下により、設定ファイルをファイル 1 又はファイル 2 からファイル 3 へコピーするように設定します。

external-memory exec filename	外部メモリボタンと DOWNLOAD ボタンの同時押下により、実行形式ファームウェアファイルをファイル 1 からファイル 2 へコピーするように設定します。
external-memory syslog filename	外部メモリに保存する SYSLOG ファイル名を指定します。
external-memory auto-search time	外部メモリ内のファイルを検索するときのタイムアウト時間を設定します。
external-memory batch filename	execute batch コマンドで実行するバッチファイル名を指定します。
external-memory boot permit	外部メモリ内のファイルからの起動を許可するか否かを設定します。
external-memory boot timeout	ルーター起動時に外部メモリを検出するまでのタイムアウト時間を設定します。
external-memory performance-test go	外部メモリが必要な性能を持つか否かを確認します。
show status external-memory	外部メモリの動作状態を表示します。
usbhost overcurrent duration	過電流として検出するまでの時間を設定します。
ダウンロードボタン	
operation external-memory download permit	外部メモリボタンと DOWNLOAD ボタンの同時押下による設定ファイル、ファームウェアファイルのコピー操作を許可するか否かを設定します。
operation button function download	DOWNLOAD ボタン押下時の機能を設定します。
operation execute batch permit	DOWNLOAD ボタンによるバッチファイル実行を許可するか否かを設定します。
起動時のログ	
show status boot	起動の情報を表示します。
show status boot all	起動の情報を表示します。
show status boot list	起動の情報の履歴を表示します。
clear boot list	起動の情報をクリアします。
その他	
alarm http revision-up	HTTP リビジョンアップ機能に関連するアラームを鳴らすかどうかを設定します。
alarm startup	起動時のアラーム音の種類を設定します。
dhcp client release linkdown	インターフェースがダウンした時の DHCP クライアントの挙動を設定します。
lan count-hub-overflow	HUB IC での受信オーバーフロー数を取得するか否かを設定します。

ppp lcp accm	[PPP_LCP] Async-Control-Character-Map オプションを使用するか否か選択します。
show nat descriptor masquerade port	IP マスカレードで使用しているポートの個数を表示します。
show status mail service	メールサービスの情報を表示します。
show status voice process	音声の処理状態を表示します。
syslog execute command	実行されたコマンドをログに残すか否か選択します。
system led brightness	LED の輝度を設定します。
削除されたコマンド	
メール着信確認/転送機能	
clear mail-check info	メール着信情報をクリアします。
mail-check go	メールチェックを実行します。
mail-check prohibit	メール着信機能の実行を許可するか否かを設定します。
mail-check server	受信メールサーバの IP アドレス等の情報を設定します。
mail-check timeout	メールチェックでのタイムアウトするまでの時間を設定します。
show status mail-check	メールチェックの情報を表示します。
mail-transfer filter	メール転送フィルタを定義します。
mail-transfer go	メール転送を実行します。
mail-transfer prohibit	メール転送機能の実行を許可するか否かを設定します。
mail-transfer receive from	転送するメッセージを受信するサーバーを設定します。
mail-transfer receive maxlength	受信するメッセージの最大長を設定します。
mail-transfer receive restrict	指定したサーバーに転送するメッセージを受信するサーバーを制限します。
mail-transfer send maxlength	転送するメッセージの最大長を設定します。
mail-transfer send to	メッセージを転送するサーバーを設定します。
mail-transfer server	送信メールサーバーの IP アドレス等の情報を設定します。
mail-transfer timeout	メール転送でのタイムアウトするまでの時間を設定します。
電話機からのリビジョンアップ	
analog http revision-up permit	電話機からのリビジョンアップ操作を許可するか否かを設定します。
フュージョン対応	
provider sip 050-number	各 SIP サーバーに対する 050 に続く 4 桁の番号を設定し

	ます。
DTCP 機能	
show status dtcp	DTCP の情報を表示します。
tunnel dtcp	DTCP のパラメータを設定します。
tunnel dtcp connect	DTCP の接続を開始します。
tunnel dtcp disconnect	DTCP の接続を切断します。
RTA55i の Rev.4.06.16 との接続設定コマンド	
pptp call-id mode	PPTP の Call-ID 処理の整合性を取ります。
コマンド体系が変更になったもの	
USB デバイス系	
usbhost config filename	USB ボタンと DOWNLOAD ボタンの同時押下により、設定ファイルをファイル 1 からファイル 2 へコピーするように設定します。
→「external-memory config filename」コマンドに置き換えられる。	
usbhost exec filename	USB ボタンと DOWNLOAD ボタンの同時押下により、実行形式ファームウェアファイルをファイル 1 からファイル 2 へコピーするように設定します。
→「external-memory exec filename」コマンドに置き換えられる。	
usbhost syslog filename	USB デバイスに保存する SYSLOG ファイル名を指定します。
→「external-memory syslog filename」コマンドに置き換えられる。	
operation usb-download permit	USB ボタンと DOWNLOAD ボタンの同時押下による設定ファイル、ファームウェアファイルのコピー操作を許可するか否かを設定します。
→「operation external-memory download permit」コマンドに置き換えられる。	
メール通知系	
(RT58i)	
mail-notify charset	メール通知機能で使用する charset を指定します。
mail-notify go	接続情報をメールで送信します。
mail-notify intrusion	攻撃を検知したときにメール通知をするかどうかを設定します。
mail-notify intrusion go	不正アクセス検知情報をメールで送信します。
mail-notify intrusion subject	メール通知機能で送信するメールのサブジェクトを指定します。
mail-notify subject	メール通知機能で送信するメールのサブジェクトを指定し

	ます。
(NVR500)	
mail notify	メール通知用トリガーを設定します。
mail notify account exec	累積課金情報をメールで送信します。
mail notify status exec	状態情報をメールで送信します。
mail server name	メールサーバ設定の識別名を設定します。
mail server pop	POP サーバーを設定します。
mail server smtp	SMTP サーバーを設定します。
mail server timeout	メールサーバーの通信タイムアウト値を設定します。
mail template	メール送信用のテンプレートを設定します。
同一コマンドで、デフォルト値が異なるもの	
音声 DSP 系の制御コマンド	
audio echo-canceller	指定されたポートのエコーキャンセラの設定をします。 →エコーキャンセラのテール長パラメーターの設定範囲が異なります。 →デフォルト値が異なります。
audio echo-canceller nlp threshold	エコーキャンセラの NLP(NonLinear Processing) 閾値を設定します。 →設定範囲が異なります。 →デフォルト値が異なります。
analog pad rtp receive	指定したアナログポートの RTP パケットに対する受話 PAD を設定します。 →設定範囲が異なります。
analog pad rtp send	指定したアナログポートの RTP パケットに対する送話 PAD を設定します。 →設定範囲が異なります。
analog dtmf level	指定したアナログポートの DTMF 信号レベルを設定します。 →設定範囲が異なります。
audio jitter-buffer	指定されたポートのジッタバッファの設定をします。 →設定範囲が異なります。
DNS キャッシュポイズニング脆弱性対応	
dns sreport	DNS の始点ポート番号の範囲を設定します。 →デフォルト値が異なります。
NGN 対応	
analog call route	番号経路を定義します。

analog extension dial prefix	外線発信の経路を指定するためのダイヤル番号を設定します。
→上記 2 コマンドに ngn が指定できるようになりました。	
ipv6 LAN-INTERFACE address	インターフェースの IPv6 アドレスを設定します。
ipv6 tunnel address	インターフェースの IPv6 アドレスを設定します。
show ipv6 route	IPv6 の経路情報を表示します。
→上記 3 コマンドが IPv6 DHCP に対応しました。	
外部デバイスポートの拡張対応	
copy config	設定ファイルをファイル 1 からファイル 2 にコピーします。
copy exec	実行形式ファームウェアファイルをファイル 1 からファイル 2 にコピーします。
less file list	ファイル情報を表示します。
show file list	ファイル情報を表示します。
show log	システム及び通信のログを表示します。
show status usbhost	USB ホスト機能の動作状態を表示します。
usbhost use	USB ホスト機能を使用するか否かを設定します。
→上記 7 コマンドに microSD,USB1,USB2 が指定できるようになりました。	
モバイルインターネット対応の為の拡張	
pp bind	選択されている相手先情報番号にバインドされるインターフェースを指定します。
→上記コマンドに USB1,USB2 が追加されました。	
SHARE 対応など	
ip tunnel intrusion detection	IP の侵入検知を動作させるか否かを設定します。
ip pp intrusion detection	IP の侵入検知を動作させるか否かを設定します。
ip tunnel intrusion detection	IP の侵入検知を動作させるか否かを設定します。
→上記 3 コマンドが SHARE に対応しました。	
機種名の違いにより変更	
analog sip call myname	指定したアナログポートの SIP 発信の際に使用される自己 SIP アドレスを設定します。
→デフォルト値が異なります。	
http revision-up url	HTTP リビジョンアップで使用する URL を設定します。
→デフォルト値が異なります。	
タイミング調整	
login timer	ログインタイムを設定します。
→設定範囲が異なります。	

GbE 対応	
lan type LAN-INTERFACE	LAN の通信モードを選択します。
speed LAN-INTERFACE	インターフェースの速度を bit/s 単位で設定します。
→上記 2 コマンドがギガイーサ対応しました。	
機能拡張	
show nat descriptor address	NAT のアドレスの状態を表示します。

ヤマハルーターのお問い合わせ先

住商情報システム株式会社

IT プロダクト&サービス事業部

ネットワークプロダクト部

E-Mail : rt-info@ml.scs.co.jp

電話

東京 : (03) 5859-3032

大阪 : (06) 4863-2572

福岡 : (092) 471-9500

名古屋 : (052) 955-5127

仙台 : (022) 221-0815

ヤマハルーター関連情報

住商情報システム株式会社 ヤマハルーター情報ページ

<http://www.scs.co.jp/yamaha/>

ヤマハルーターのコマンドをオンラインで習得

速習オンライントレーニング

<http://www.scs.co.jp/yamaha/sales/e-learning.html>

技術情報サイト(事前登録必要)

技術 FAQ、検証資料、機種選択ガイド等を掲載

<http://www.scs.co.jp/yamaha/registeredpage.html>